

第4回調布駅前ひろば検討会での傍聴者意見について

日時 令和元年12月23日（月）

会場 教育会館3階 研修室

傍聴者意見表

No.	ご意見など
1	南側ロータリーの見直しの提案によって、前向きな意見があり、今後の見直しに期待したい。 ロータリーと協存する広場は、大変貴重な存在であり、大事にして頂きたい。 自転車と歩行者が上手く交錯しないようにお願いしたい。
2	・市の計画案、進め方に賛同します。駅前広場は、最低限の交通容量、歩行者との分離、安全性が確保されるべきで、すでにこれまで検討されていると思います。国交省や警察との協議、市民の建設的な意見を取り入れて検討していただきたいと思います。 ・今は整備途中のため、だだっ広い広場にも感じますが、もっと整備が進めばゾーニングが活きてくると思います。ラグビーのイベント、ファンミーティング(?)など、イベント機能も浸透していくと思います。使ってから考える、変えるも必要だと思います。 ・傍聴席がうるさいと思います。委員が発言しづらくては議論にならないので、非公開、議会のようにライブビューイング配信も検討されてはいかがでしょうか。
3	今日の市の提案の中で、イチョウとユリノキを保護するためその木を傷つけないロータリーと、西側を南から駅口への歩行導線を短キョリにするため、ロータリーの形状を検討するという点で道路管理者ともう一度話し合いをつめて頂けるというのは大変期待がもてます。この広場の意味、調布における市民や行政の広場の歴史などもしっかり理解して頂き、話をつっこんでできる専門家の力も是非かりてほしいと思います。ひと昔前は、駅前広場は人や車の交通を第一に考えられていたが、今は広場空間を人がいこうたを第一に考えて設計されているという専門家のお話をききました。それこそ今まで調布が大事にしてきたことだろうと思います。その中で、市民のつどいと、樹木の中でゆったりくつろげることと、子どもが楽しむ、親子で楽しめる空間、それが実現されていくのではないのでしょうか。今日の委員のみなさんの発言から調布のまちへの思いが伝わってきました。ぜひそれを形にしていきたい。今日の行政からの提案の中にその気持ちによりそおうと努力されているのを感じます。しかし、努力を形にしてほしいと切に願います。
4	駅前とあるように、かつては地上を鉄道が通っていた場所なので、それが分かるような工夫をしてほしいです。

5	・深大寺を中心に調布は植木屋さんの街です。木を調布の個性として下さい。 広場内に木陰と休む場所（丸いベンチとか）その休むスペースが人並、自然な交通整理、そのスペースで人の流れをいくつかに分けられるのでは。歩くスピード、走るスピードをおさえることができる。とにかく風や木影だんだん気候的に暑くなる傾向なので、夏、涼をとれる工夫をして下さい。北欧のような緑豊かな広場を！目にうつる緑はとても大切です。地面のつくり方も照りかえしが少なくなる材質を。平らで車いすがスムーズに通れること。広々した駅前が素適です！無機質なものは世の中の流れからすると逆行だと思います。ぜひ緑豊かな個性的な広場にして欲しいです。
6	遅きに失したけど、バス、タクシー事業者も検討会に入っていたほうがよかったと思う。直接考え方を市民に話してもらうことと、市民の要望をきいていただくことは、今後のまちづくりへの協働にもプラスだと思う。事業者にとっても直接市民のニーズをきけることはプラスだと思うし、今後の事業展開の参考になると思うし、イメージアップになるので損ではないと思う。 バス利用者も北口ロータリーひろすぎて移動が気の毒です。その点で南口ロータリー建設では教訓にしてほしい。タクシー運転手不足と配車アプリの活用、効率化を考えるとタクシーバス縮小できると思うのでよく協議してほしい。ミニマム以下は無理なのか。今後の議論の場のもちかたについて早急に検討を。 まとめに？縮小するという事ではないのか？他との調整が必要ならばその点をいえ
7	最終検討会の資料では歩行動線の改善、ひろば機能、樹木との総合調整した「案」が示されるべきだと思います。原案にとどまっていること残念です。交通管理者と交通事業者との協議は3回検討会の後にもなされるべきものを完了済としていること納得できません。 そもそも駅前公園と道路をどう調整するか議論をすべきところ、樹木を伐採の上すべてを道路指定してあき地を「ひろば」と考えさせることには納得できません。駅前広場は道路課ですか？緑と公園課ですか？ 樹木は未来100年200年の贈りものです。植え込みの樹木で良しと考えることではいけないと思います。「イチョウとユリノキの根元で鉄柵がくい込んでいる姿、耐えられません。」鉄道が地下化しても南北のロータリーという発想は古すぎます。
8	18：30分から始まって、19：20分まで約1時間が説明で、やっと19：20分過ぎから検討会委員の意見を聞ける様になったが、20：30がメドで、21：00閉場という流れの中で、委員全員の発言とそれに対する秋山哲男委員のまとめにおわってしまい、意見交換の為の時間が少なすぎと思いました。 秋山さん対委員でなく、委員同志の意見交換がなくて残念でした。（今までの会も同様）

9	北側では現在バスの正着が行われていない。よって南側に広がったとしても正着が在ると思えない。なを公安上の問題とは言え、奥に広くとらず、南口の左りを広げる可能性が有るにもかかわらずせまい。奥に広がった分、たて長になった分、左右の空間が広くとれるはずだ。説明案に合理性がない。又、時代の先をどう読んでいるか理解しにくい。形状をなぜ、タッチ&ゴーに出来なかったか。前進に向けて話されていない。電気自動車を始め、小型化が進んだ時を見すえていない。もっと合理的に、多面的に考えられなかったか。たとえば、市役所前を通し、東急前を入か、出の一方通行にすれば合理性が上り、自転車をどこまで乗り入れが出来るかが変わる。現在取りこわし中のビル分をタクシープール及びバス予備時間を変える事が出来る。現案では樹木を減らす事しか考えていない。市の顔と言える駅前が、バスとタクシーだけ目だつ市で良いのか。公安の条件が重視される程行政は悪いのか。緑り豊かな住やすい調布を造るのではないのか。又、左右や、上下に自転車の専用道の案も出ていない。なぜ、バスの入りや出に固シツしているか理解出来ない。民意という形を取った、行政案の押し付けでないか、リムジンバスは公園外に止め、地下や、（駅に行く）別の乗り場で又は、降し、キャリアバックやトランクをなるべく引いて歩かなくても済むようにする。解答が必要です。
10	タクシー待ち（まんなかの駐車エリア）は極力少ない台数になるようにしてほしい。バスの乗り降りは共用するなどバスの使用場所（台数は）へらしてほしい。以上を考えに入れ、ロータリーを現在のスペース程度にとどめてほしい。広場を広くのこしてほしいです。
11	傍聴者の意見を3回まで向けて書きとめながら結局意見をうけとめていないと思う。それで市民は協力しろとは何ということですか。意見をうけとめられるから協力するのです。この委員会は何のための委員会だったのでしょうか。結果を返す委員会をつくるべきです。
12	南口ロータリー 縮小の 行政の案は評価をいたします。 ただし今後具体的にどのようなになっていくのか不安があります。 奥先生の ミニアセスは是非実施していただきたいと思います。 また今後の 公共交通などの関係のことで 秋山先生と大沢先生に行政、議会、市民の3者での合同の勉強会、研究会を早期開催を要望いたします。 ロータリーの中に入れなくても良いものの検討。身障者と自家用車の場所。京王線調布駅東口の活用。甲州街道と品川街道まで繋がる蓮慶寺通りの活用。リムジンバスをロータリー内にするのか。自転車の走行をどうするのか。などを早期に検討して、その後ロータリーの大きさ、形状、そして関係機関との再交渉をするべきだと思います。

13	・市の提案が具体的提案になっていない。現状の案＝資料５－１が悪いことを認めたが、どのように改めるかの再提案の図がでていないので、この回で終りにできない。例えばロータリーがどれくらい縮小されるのか、すずめの涙程度では十分ないこいの広場が確保されない。市民合意えられない。 ・相変らず本質的な、理想的なものを追求せず、完成期限、誤った過去を既成事実として、制約条件として、微小変更にとどめようとしているので、市民合意が得られない。この市民にこの市長、職員ありだが、市民といっしょにもっと努力しないと。 ・ロータリーのための理想（車交通だけ）を追求するのではなく、イベント広場、いこいの広場などのminimum 条件を設定せずして、正しい全体最適にならない。 ・市が偏狭な考え方で具体化するとまともなものができないでしょう。 ・学者の話（広い将来vision）をもっと聞いて学習した方が、微小変更するにしてもよいでしょう。 ・イベント広場キノウ（＝あまり重要でない）といこいの広場キノウ（＝子供や老人に重要）は別物で両方をわけて考えることが重要。 ・バスや車をむやみに駅前広場に入れるべきでない。特にリムジン、タクシーなど外周道路でも十分。 ・秋山委員長の話の２０３０年の見直しは理解できない。 ・１０年で見直すのは現状案がひどすぎることを意味する。 ・５０年位先に見直すことでないと、まともな委員長といえない。
14	南ロータリー縮少の方向性が見えたが、一番重要なタコ公園の復活を盛り込んで頂きたい。市制７０年に向けてのシンボルとして、市民に愛され、児童も安心して遊べる公園を取り戻して欲しい。 公園とイベント広場と、交通結節機能について、どう折り合いをつけるかというのがこの検討会のテーマだったはずである。 「南側交差点形状は変更しない」とあるが、対面通行、右折レーンでは事故が増える原因になってしまう。 コンセプト案や交通管理者協議等、今までの取り組みではまずいという指摘をしているので、制約のない再検討をお願いするとともに検討会の延長を行い、最終案を市民がチェックできるようにしていただきたい。 ※現状、バス待機場は３でなく「４」です。「タテ２（京王）、ヨコ２（小田急）」です。

15	・バス、タクシー、ミニマムの数字を並べたんだっただうしてロータリーがもとの図面に比べどの位縮小されたのか。図面と数字を示さないのか。 ・秋山委員長は縮小すると行政は言っていると言ったが、少くとも行政の図面はいちよの2本のシンボルツリーまできてるし、グリーンホールのかいだんまできているロータリーの図面では変わらないと思うのは当然。 こんなやり方はおかしい。今更変えることはできないという市のしせいがありあり。茶番のイイン会です。
16	どんな形状になるか分らないロータリーを示さないまま会を終えることは、おかしい。座長も市の意見に片寄っていておかしい。
17	・北側ロータリーは調布市民として残念なものになってしまった。今回は市から「南側ロータリー形状の再確認・総合調整」「歩行動線の改善と環境空間（ひろば機能）確認」ということが提案された。是非、地球環境危機のことも最重要事項として（CO₂削減、温暖化防止など）緑豊かでホッとする駅前広場を実現してほしい。市行政の良識を期待してます。 ・「その他機能についての今後の取組」の中にも子どもの遊べる広場（公園）が欠落している。これまであった調布駅前を象徴するような「タコ公園」を取り戻すよう切望してます。
18	市がロータリーの縮小にふみこんだのは画期的だと思いますが、まだまだ縮小の余地があると思います。バス停の数、タクシーの待機数、もっと削れるのでは？このままで受け入れられるかどうかすぐ決断はできません。もう少し具体化した段階でさらに検討委員会を開く必要があると思います。
19	今回の市側の検討結果は表現の差こそ有れほとんど従来の主張を変えていない！！第4回の検討結果としてはお素末の限りである。何故、市民の多くが期待している ◎南側バスロータリーの面積を現状通りかせめて現状の1. 2～3倍におさえて緑の空間（公園的な樹木配置）を設ける案が出せないのか！！→公園という言葉は一言も無い！！ ◎樹木を点在配置して済ませようとする意図が見えている。 ◎この検討会を継続してもらいたい！！ 関係組織も多く、過去の経緯も有りますので御苦勞のことと思いますがよろしくお願いします。
20	キチンと対案を出して、検討会の了解をとるべきではないか？今は内容が市民には目にみえない。一部修正というがどこまでやる気なのか？まるでみえない。行政におまかせとなるのか？おかしい！！少なくとも経緯中間報告を検討会にすべき。専門家を入れて対案考えるべき。

21	・市民の声を入れて、すでに関係各署と調整済みの内容を再調整するという市の姿勢には敬意を表します。また、3つの「その他機能」について、次年度以降市民参加で決めていくということも、それこそあるべき姿と賛成します。ただし、市民参加の委員選定については、透明性あるものとし、市が一方的に集めるようなことのないよう希望します。 ・南ロータリーの「一部の修正」という言葉が気になりました。これはつまり、「一部は残す」という意味でしょうか？南ロータリーの大きさがこれほど問題視されているのだから、根本から見直すことが必要なのでは？個人的には、南ロータリーの角度に大きな問題があると思っています。 ・どうやら補助金の問題が本質らしいが、令和七年度完成にこだわるあまり、中途半端な計画になることを怖れます。期限を延ばすかそれともそれが無理なのなら、今からでも超急ピッチで進めるという覚悟を市には持っていただきたい。 ・「その他の機能」は市民参加で決めるとのことだが、肝心の南ロータリーの最終案はだれがチェックするのか？この検討会では「あとは市にお任せ」との幕引きになってしまうのか？基本設計が出来た段階で再び市民の声を聞く必要が絶対にあると思う。（最後に八田部長が説明？） ・市の配布資料5－1にある今後の検討事項の中には、旧タコ公園のような児童公園についての内容が含まれていない。こうした子供たちのための公園が必要か不要か？その議論はどうしても必要と考える。
22	市の現状のうち④社会情勢の変化のうち、今後の高齢化にむけての交通アクセス、人口減少社会に対して視点が無いのが残念。検討がたりない。修正の検討前提はずっと危険にあるのではないかと疑問をもった。 ・市民アンケート結果等をどのように反映したのか？わからない。屋根の高さについても意見がない。←景観的にどうなのか？ もっと大胆に「みんなの駅前広場」を考えられるのか。短い時間の検討についてとても残念に感じた。なんのための検討会か？模型活用もできていないのは残念だ。
23	もう一度新しい駅前広場のコンセプトを確立し、公募も含め新提案を求む
24	マイクの関係か後の席からは聞き取りにくいというところがありました。グリーンホールについては建て替えの時期にきていると思いますが、改修の上、ホールは残していただきたいと思います。駅の近くという立地条件から市民以外の方の参加が多いと思います。（コンサートなど）

25	交通広場の地下化（前回の市民会議で提案した者です） メリット①人と車が分離され広々とした広場ができる。南側パルコの前の危険を歩道がなくすことが出場、よさこいなどの広場になる。 ②駅とバスなどの交通広場が直結し、ことに成田、羽田からの人が重い荷物を転がすことがなく雨の日でも便利。 ③地下交通広場の入口は西側のビックカメラの両側（西）ニヶ所から出入りすれば東急側の道は歩行者天国となり、パリのシャンゼリゼの様な広場ができる。 調布広場は100年の計。国立競技場も基本設計が完了時に見直しの英断があった。まだ地下化の検討は間に合います。是非ご検討を。
26	「ひろば検討会」で有識者、市民代表のメンバーで意見を交してきたのを傍聴してきたが、バスロータリー（南側）が大きすぎるというのが、多く出された意見のようと思うが、交通事業者との協議は完了済ということで、資料5－1で示された図より小さくすることは不可能なのではないでしょうか。駅の階段を上がると左右に屋根付きのバスロータリーがでんと目に入るとするのは、せっかくの大きな広場を持つ駅前がもったいない。全国的にみても、貴重な大きな建物を持つ駅前と委員の方も言っていました。 アンケートの回答の中にもありましたが、バスロータリーも含めたひろばをどうしたいかという質問も入れてほしかったです。バスロータリーの件で協議していくのは、タクシー業者ではなくバス会社だと思う。
27	検討委員会が最終だと知っておどろきです。今、スタートに立ったように思います。検討委員会、そのものに疑問を覚えます。司会のやり方、委員一人一人の意見を言い放しにするのではなく、一つ一つとり入れるものとり入れないものを決めていかないと前に進んでいかないとします。
28	◎南側ロータリーのスペースがきまらなると他の駅前広場の利用空間がきまらない。早くきめるべきです。 南側ロータリーの検討 1. 市民の意見を聞く 2. 現状で何が悪いのか 3. タクシー待機場 14 台も必要か。現状では必要ない。 4. 市の案ですと駅入り口まで距離が遠くなる。人はできるだけ近道をする。バスロータリーの中を歩いていく人もでてるのでは。 ◎市民がくつろげるミニ庭園がほしい。（ミニイングリッシュガーデン、バラ園、マグノリア園など）ベンチにすわって花や樹木を観賞できる空間（市民参加で作る）

29	会場のせいもあるが司会者も発言する委員も傍聴者にも聞いてほしいという気持で大きくはっきり聞こえるように発言してほしい。（→出来たら映像シアターでたづくり8F） 市の考え方が大よそ分ったが、樹木の位置の保全を考えると、バス、タクシーの乗降事を考えて、改善をしていくという方針がのべられたが、 駅前がどんなにかその市で街で大切なのか？それにはどんな場、環境が必要なのか？共通理解が必要。イベントで1万人集まる広場底力があるというが、イベントで人を集めること以上に市民が日常的に誇りに思い、他の町の人をまねいて来たくなる、1度来た人がまた来たくなる街が未来がある。子ども、若者、老人につて駅前ひろばについての話し合いがない。バス利用者の声を聞いたかと同じように子ども公園を奪われことについて子どもや親や、保育者の声も聞いて駅前ひろばに位置づけたい。
30	調布駅前ひろば第4回検討会が、秋山会長の適切な議事進行により、一定の意見集約がなされたことを嬉しく思います。 検討会を進めるに従い、次第に良い計画案にまとまってきましたので、ぜひこの計画で進めていただきたいと思います。 特に様々な意見があるなかで、北側・南側ロータリーの二つの楕円型ロータリーが基本デザインとして確定されたことを喜ばしく思います。 南側ロータリーについては縮小案もあるようですが、現在の利用状況からの判断だけでなく、将来の需要予測を踏まえた対応も必要です。このため大規模なロータリースペースの確保は、将来世代に検討の余地を与えるためにも必要であると思います。一旦縮小してしまうと今後の拡大は困難です。 今後この広場の役割・機能を最大限に活かすべく、様々なソフト面の検討が加えられることと思いますが、その時々社会情勢の変化にも柔軟に対処していく覚悟と心構えが必要と思います。 今回の検討会で、委員の一人が、与えられた発言時間を大幅に越え、また発言内容もこれまでの検討会の経緯とは異なった認識のもとに発言したり、個人的な障害程度の内容を延々と述べたりしたことに委員としての適性に疑問を感じました。 幸いなことに秋山会長の優れた指揮により、検討会が適切に進行しましたが、今後、委員の選任について検討すべき課題であると思いました。

※原文そのままを転記しています。